# 平成27年度9月補正予算主要事項

（単位：千円）

| 部局名 | 事項 | 予算額 | 財源内訳 特定財源 | 財源内訳 一般財源 | 事業の概要 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通 | 「森の京都」整備事業費 | 127,000 | 国 127,000 | ― | | |
| | 「森の京都」市町村支援事業費 | (20,000) | 国 (20,000) | ― | 市町がマスタープランに基づき実施する「森の京都」関連事業等に対する補助制度を創設し、「森の京都」の取組を推進 | |
| | 「森の京都」案内標識等整備費 | (46,000) | 国 (46,000) | ― | 来年春の国定公園の新規指定等を控え、戦略拠点へのアクセス強化等のため、先行的に案内標識等を整備 | |
| | 「森の京都」新規国定公園事業費 | (24,000) | 国 (24,000) | ― | 由良川・桂川上中流域の新規国定公園指定に合わせ、芦生原生林の保全・適正利用の促進及び多言語案内板等インフォメーション機能を整備 | |
| | 「３つの京都」集客パワー強化事業費 | (27,000) | 国 (27,000) | ― | 京都市域等で増大する観光客や国際フェリーの定期航路化による新たな観光客を、確実に「3つの京都」地域等へ誘客するための動向分析や送客に係る課題分析、商品開発を実施 | |
| | 「森の京都」クラフトモール整備事業費 | (10,000) | 国 (10,000) | ― | 「京都新光悦村」に職人等が活動する工房を整備し、作品の展示・実演販売などのチャレンジの場を提供 | |
| | 「森の京都」アクセス道路等整備費（債務負担行為） | (300,000) | | | 「森の京都」のターゲットイヤーに向けた戦略拠点の整備や拠点へのアクセス向上等のため、道路整備等を実施 | |

# 平成27年度9月補正予算主要事項

（単位：千円）

| 部局名 | 事項 | 予算額 | 財源内訳 特定財源 | | 財源内訳 一般財源 | 事業の概要 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通 | 「お茶の京都」整備事業費（一部再掲） | 88,000 | 国 | 88,000 | ― | | |
| | 「お茶の京都」市町村支援事業費 | (10,000) | 国 | (10,000) | ― | 市町村がマスタープランに基づき実施する「お茶の京都」関連事業等に対する補助制度を創設し、「お茶の京都」の取組を推進 | |
| | 「お茶の京都」案内標識整備費 | (20,000) | 国 | (20,000) | ― | 本年4月の日本遺産認定を踏まえ、「宇治茶かおり回廊整備マスタープラン」に基づくメインルートとなる回遊ルートを中心として、先行的に案内標識を整備 | |
| | 「３つの京都」集客パワー強化事業費（再掲） | (27,000) | 国 | (27,000) | ― | 京都市域等で増大する観光客や国際フェリーの定期航路化による新たな観光客を、確実に「3つの京都」地域等へ誘客するための動向分析や送客に係る課題分析、商品開発を実施 | |
| | 「お茶の京都」コアイベント構想策定費 | (1,000) | 国 | (1,000) | ― | 「お茶の京都」を世界に向けて発信するため、市町村や茶業団体等と連携し、コアイベントの開催に向けた構想を策定 | |
| | 農林水産業スマート化事業費（宇治茶生産技術強化） | (30,000) | 国 | (30,000) | ― | ICTを活用したスマート化により地域の「稼ぐ力」を向上させるとともに、農林水産業の成長産業化を推進 | |

# 平成27年度9月補正予算主要事項

（単位：千円）

| 部局名 | 事　　項 | 予算額 | 財源内訳 | | 事業の概要 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 特定財源 | 一般財源 | | |
| 共　　通 | 「海の京都」事業費（一部再掲） | 110,500 | 国　110,500 | － | | |
| | 「３つの京都」集客パワー強化事業費（再掲） | (27,000) | 国　(27,000) | － | 京都市域等で増大する観光客や国際フェリーの定期航路化による新たな観光客を、確実に「3つの京都」地域等へ誘客するための動向分析や送客に係る課題分析、商品開発を実施 | |
| | 丹後王国「食のみやこ」冬期誘客促進事業費 | (75,000) | 国　(75,000) | － | 丹後王国「食のみやこ」の好調な来園状況を持続するため、冬期の誘客を強化するとともに、人材育成機能等を強化し10次産業化を促進 | |
| | 農林水産業スマート化事業費（ブランド水産物生産拡大） | (8,500) | 国　(8,500) | － | ICTを活用したスマート化により地域の「稼ぐ力」を向上させるとともに、農林水産業の成長産業化を推進 | |
| 企画理事 | 「森の京都」市町村支援事業費（再掲） | 20,000 | 国　20,000 | － | 市町がマスタープランに基づき実施する「森の京都」関連事業等に対する補助制度を創設し、「森の京都」の取組を加速化 | |
| 企画理事 | 「お茶の京都」市町村支援事業費（再掲） | 10,000 | 国　10,000 | － | 市町村がマスタープランに基づき実施する「お茶の京都」関連事業等に対する補助制度を創設し、「お茶の京都」の取組を加速化 | |
| 企画理事<br>農林水産部<br>建設交通部 | 「森の京都」案内標識等整備費（再掲） | 46,000 | 国　46,000 | － | 来年春の国定公園の新規指定等を控え、戦略拠点へのアクセス強化等のため、先行的に案内標識等を整備 | |

# 平成27年度9月補正予算主要事項

（単位：千円）

| 部局名 | 事項 | 予算額 | 財源内訳 | | 事業の概要 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 特定財源 | 一般財源 | | |
| 企画理事<br>建設交通部 | 「お茶の京都」案内標識整備費（再掲） | 20,000 | 国 20,000 | — | 本年4月の日本遺産認定を踏まえ、「宇治茶かおり回廊整備マスタープラン」に基づくメインルートとなる回遊ルートを中心として、先行的に案内標識を整備 | |
| 知事直轄組織（知事室長） | 地域メディアネットワーク創設事業費 | 3,000 | 国 3,000 | — | 地域創生の情報発信機能を強化するため、その担い手としての地域メディアを支援し、京都府との双方向の情報発信の仕組みを構築 | |
| 政策企画部 | けいはんなコンベンション誘致推進費 | 1,000 | 国 1,000 | — | けいはんな学研都市に国際会議や学会等のコンベンションを誘致するための協議会を設置し、プロモーション活動や施設整備を効果的に展開 | |
| 府民生活部 | 「あすKyo」地域創生推進費 | 2,000 | 国 2,000 | — | 府民ぐるみで地域創生を推進・応援していく気運の醸成に向けて、「明日の京都づくり府民会議」が開催する「地域創生京都フォーラム（仮称）」を支援 | |
| 文化<br>スポーツ部 | 「京都まるごとキャンパス化」構想策定費 | 1,000 | 国 1,000 | — | 大学と連携したフィールドワーク等による地域の課題解決、活性化を推進するため、大学と市町村、企業、団体との連携を促進し、京都各地をキャンパス化するための構想を策定 | |
| 環境部 | 自立型再生可能エネルギーシステム導入支援事業費 | 32,000 | 繰入 32,000 | — | 「再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例」の制定を踏まえ、自立型再生可能エネルギー設備等を導入する事業者への支援及び府民・事業者への普及を促進する人材を育成 | |
| 環境部 | 地域エネルギー自立ネットワーク推進事業費 | 2,500 | 国 2,500 | — | 府内のエネルギー自立化を促進するため、各地域が連携したエネルギー創出・供給体制の構築に向けた調査を実施 | |
| 環境部 | 「森の京都」新規国定公園事業費（再掲） | 24,000 | 国 24,000 | — | 由良川・桂川上中流域の新規国定公園指定に合わせ、芦生原生林の保全・適正利用の促進及び多言語案内板等インフォメーション機能を整備 | |

# 平成27年度9月補正予算主要事項

（単位：千円）

| 部局名 | 事項 | 予算額 | 財源内訳 特定財源 | | 財源内訳 一般財源 | 事業の概要 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境部 | 〔流域下水道事業特別会計〕下水道資源利用促進構築事業費 | 10,000 | 国 | 10,000 | ― | 再生可能エネルギー熱である下水熱の民間利用を促進するための仕組みづくり | |
| 健康福祉部 | 地域医療介護総合確保基金積立金 | 4,494,115 | 国 | 2,996,076 | 1,498,039 | 効率的かつ質の高い地域医療提供体制の構築と、地域包括ケアシステムの構築を総合的に推進するため、基金の積立を実施 | 27 当初<br>2,002 |
| 健康福祉部 | 未来へつなぐ安心医療提供体制調査費 | 22,000 | 国<br>繰入 | 2,000<br>20,000 | ― | 地域で適切な医療が受けられるよう、必要な医療提供体制確立に向けた調査を実施 | |
| | 地域医療ビジョン策定調査費 | (2,000) | 国 | (2,000) | ― | 地域医療の体制確保を図るため、地域医療ビジョン策定に必要な患者実態等の調査を実施 | |
| | 病院経営計画策定支援事業費 | (20,000) | 繰入 | (20,000) | ― | 地域医療ビジョンの策定に向け、医療機関における経営等の推計に要する経費を助成 | |
| 健康福祉部 | 京都式地域包括ケア推進費 | 449,126 | 繰入 | 449,126 | ― | 医療・介護・福祉を一体化した地域包括ケアを推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を実現 | 27 当初<br>4,761,817 |
| | 総合リハビリテーション充実費 | (10,000) | 繰入 | (10,000) | ― | 回復期リハビリテーション病床の整備により、総合的なリハビリテーション提供体制を構築 | 27 当初<br>23,500 |
| | 地域介護基盤整備促進事業費 | (439,126) | 繰入 | (439,126) | ― | 地域密着型特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等の整備に対する助成により、地域の特性に応じた市町村等の取組を支援 | 27 当初<br>1,960,562 |

# 平成27年度9月補正予算主要事項

（単位：千円）

| 部局名 | 事　　項 | 予算額 | 財源内訳 | | 事業の概要 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 特定財源 | 一般財源 | | |
| 健康福祉部 | 新たな京の保育ニーズ調査費 | 2,000 | 国　2,000 | － | 既存制度では対応できない新たな保育ニーズへの課題と対策に向けて、保育ニーズ等の実態調査を実施 | |
| 商工労働観光部<br>農林水産部 | 地域産業特別活性化事業費（一部再掲） | 228,500 | 国　228,500 | － | | |
| | 中小企業人材確保緊急支援事業費 | (38,000) | 国　(38,000) | － | 地域地場産業や農林水産業をはじめ、新たな事業等に踏み出そうとする様々な分野の企業の発展を促進するため、独自の強力な人材確保体制を確立し、地域企業に真に必要なプロフェッショナル人材の確保を支援 | |
| | 「クール京都」織物産地創生事業費 | (75,000) | 国　(75,000) | － | 地域産業の底上げによる地域活力再生を図るため、出荷金額が増加し、前向きな設備投資への意欲が高まっている織物産地を支援 | |
| | 「クール京都」京もの工芸品活用事業費 | (2,000) | 国　(2,000) | － | 京もの工芸品を使用する府内のホテル、レストラン、ブライダル業者（和婚）等の認証制度を創設 | |
| | 丹後王国「食のみやこ」冬期誘客促進事業費（再掲） | (75,000) | 国　(75,000) | － | 丹後王国「食のみやこ」の好調な来園状況を持続するため、冬期の誘客を強化するとともに、人材育成機能等を強化し10次産業化を促進 | |
| | 農林水産業スマート化事業費（再掲） | (38,500) | 国　(38,500) | － | ICTを活用したスマート化により地域の「稼ぐ力」を向上させるとともに、農林水産業の成長産業化を推進 | |

# 平成27年度9月補正予算主要事項

（単位：千円）

| 部局名 | 事　　項 | 予算額 | 財源内訳 | | 事業の概要 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 特定財源 | 一般財源 | | |
| 商工労働観光部<br>農林水産部 | 人口交流促進事業費（一部再掲） | 59,000 | 国　59,000 | － | | |
| | 「３つの京都」集客パワー強化事業費（再掲） | (27,000) | 国　(27,000) | － | 京都市域等で増大する観光客や国際フェリーの定期航路化による新たな観光客を、確実に「3つの京都」地域等へ誘客するための動向分析や送客に係る課題分析、商品開発を実施 | |
| | 移住促進人材確保事業費 | (10,000) | 国　(10,000) | － | 首都圏等就職フェアで京都企業の魅力を発信し、移住コンシェルジュとの連携により人材を府内企業へ誘導 | |
| | 「京都ぐらし」首都圏戦略事業費 | (22,000) | 国　(22,000) | － | 移住希望者を誘導するための相談窓口を東京に新設し、京都の魅力発信や、京都ジョブパークと連携した相談等により、首都圏等からの移住者の受入を促進 | |
| 商工労働観光部 | 商店街ICT受発注・宅配システム構築事業費 | 5,000 | 国　5,000 | － | 地域住民の買い物利便性の向上及び商店街の活性化を目的に、商店街を核とした新たな物流システムの構築による買い物難民対策を推進 | |
| 商工労働観光部 | 「森の京都」クラフトモール整備事業費（再掲） | 10,000 | 国　10,000 | － | 「京都新光悦村」に職人等が活動する工房を整備し、作品の展示・実演販売などのチャレンジの場を提供 | |
| 商工労働観光部 | 本社機能受入促進事業費 | 30,000 | 国　30,000 | － | 府内への本社機能移転を積極的に促進するために支援制度を拡充し、地域経済の活性化による地域創生を推進 | |

# 平成27年度9月補正予算主要事項

（単位：千円）

| 部局名 | 事　　項 | 予算額 | 財源内訳 | | 事業の概要 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 特定財源 | 一般財源 | | |
| 商工労働観光部 | 地域産業人づくり事業費（一部再掲） | 158,845 | 国　158,845 | ― | | |
| | 若者就職支援等推進事業費 | （148,845） | 国　（148,845） | ― | 「京都府若者の就職等の支援に関する条例」の制定を踏まえ、就職の難しい若者を対象とした人づくりを推進 | |
| | 移住促進人材確保事業費（再掲） | （10,000） | 国　（10,000） | ― | 首都圏等就職フェアで京都企業の魅力を発信し、移住コンシェルジュとの連携により人材を府内企業へ誘導 | |
| 農林水産部 | 丹後王国「食のみやこ」冬期誘客促進事業費（再掲） | 75,000 | 国　75,000 | ― | 丹後王国「食のみやこ」の好調な来園状況を持続するため、冬期の誘客を強化するとともに、人材育成機能等を強化し10次産業化を促進 | |
| 農林水産部 | 農林水産業スマート化事業費（再掲） | 38,500 | 国　38,500 | ― | ICTを活用したスマート化により地域の「稼ぐ力」を向上させるとともに、農林水産業の成長産業化を推進 | |
| 農林水産部 | 「京都ぐらし」首都圏戦略事業費（再掲） | 22,000 | 国　22,000 | ― | 移住希望者を誘導するための相談窓口を東京に新設し、京都の魅力発信や、京都ジョブパークと連携した相談等により、首都圏等からの移住者の受入を促進 | |
| 農林水産部 | 「お茶の京都」コアイベント構想策定費（再掲） | 1,000 | 国　1,000 | ― | 「お茶の京都」を世界に向けて発信するため、市町村や茶業団体等と連携し、コアイベントの開催に向けた構想を策定 | |

# 平成27年度9月補正予算主要事項

（単位：千円）

| 部局名 | 事　　項 | 予算額 | 財源内訳 | | 事業の概要 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 特定財源 | 一般財源 | | |
| 建設交通部 | 京都発「夢の家」構想策定費 | 3,000 | 国　3,000 | ― | 若者へ低廉で質の高い住宅確保と、若者に住宅の一室を提供する高齢者との交流や生活支援を図る新しい住まいの構想を策定 | |
| 建設交通部 | 土木施設公共災害復旧事業費 | 250,000 | 国　165,000<br>起　85,000 | ― | 土木施設の補助災害復旧事業<br>【箇所】<br>(河　川)桂川、鴨川、安威川等<br>(公　園)鴨川公園 | |
| 商工労働観光部<br>建設交通部 | 土木施設等単独災害復旧事業費 | 290,000 | 起　290,000 | ― | 土木施設等の小規模災害復旧事業<br>【箇所】<br>(河　川)清滝川、細野川、安祥寺川等<br>(公　園)鴨川公園等 | |
| 建設交通部 | 単独公共事業執行平準化対策費（債務負担行為） | (2,500,000) | | | 年度当初時期の工事量の減少を緩和し、年間を通じた円滑な工事執行と仕事量を確保 | |
| 建設交通部 | 「森の京都」アクセス道路等整備費（債務負担行為）（再掲） | (300,000) | | | 「森の京都」のターゲットイヤーに向けた戦略拠点の整備や拠点へのアクセス向上等のため、道路整備等を実施 | |